



音楽活動の充実と向上めざし
第33回市内小・中学校音楽発表会開く

毎号としこんでください。きつとお役に立ちます。

第33回市内小・中学校音楽発表会開く

市教育委員会では十月十二日、市民文化会館で「五所川原市内小・中学校音楽発表会」を開きました。同発表会は、音楽の発表を通して市内各校の交流を深め、音楽活動の充実向上をはかるとともに、日ごろの練習成果を発表し合うことを目的に市教育委員会が主催し、市教育研究会音楽部会が主管して開いているもので、今回で三十三回目になります。

この日は、市内の小学校十校と中学校三校の合わせて十三校から児童・生徒約八百人が参加し、合唱や合奏に日頃の練習の成果を十分に発揮し、観客から盛んな拍手を浴びていました。



市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立つて西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

昭和62年

No.650

11-1

五小移転新築工事に着工

63年度完成めざす



五所川原小学校移転新築工事の起工式

市では十月十七日、五所川原小学校(釜泡裕校長・生徒数八百二十三人)の移転新築工事の起工式を移転先の工事現場で行いました。

同小は、木造校舎のため老朽化が進み、学区民から移転新築の要望が出されてきたもので、市はこのため学校整備五か年計画の一環として校舎新築の作業を進めてきました。

全体計画では、校舎は鉄筋コンクリート三階建てで、教室は普通二十二、特殊一、特別が七で、そのほか食堂と屋内運動場を建設するこ

とになっています。また、建築面積は校舎が五千五百六十七平方メートル、食堂五百八平方メートル、屋内運動場が千三百平方メートル(予定)で、総事業費は約十三億四千五百万円を見込んでいます。

この日は、森田市長、川浪市議会議員、高橋民一市教育委員、釜泡裕校長、気田勝治同小学校舎新築期成同盟会長など約三十人が出席して起工式を行い、六十三年度完成に向けて着工しました。

五小完成予想図



市工業用水道事業に着工 64年度一部給水開始めざす

市では十月八日、五所川原市工業用水道事業の起工式を毘沙門の市新農業センター地内で行いました。

同事業は、企業誘致を促進するために、漆川工業団地へ工業用水を供給しようとするもので、全体計画では、井戸を七本(内予備一本)掘削、浄水場と配水池を建設し、漆川工業団地まで配水管を敷設することになっています。



起工式でくわ入れを行う森田市長

昭和六十四年の一部給水開始時には一日五千二百リットルを供給し、最終的には一日九千三百リットルの工業用水を給水することになっており、総事業費は約十五億円を見込んでいます。

初年度の今年度は井戸三本の掘削と鉄筋コンクリート二階建ての浄水場(六百三十平方メートル)の建設、配水管三千七百メートルを敷設します。起工式には森田市長、関谷修省県企画部次長、川浪

直治市議会議長など約四十人が出席しました。

式では森田市長が「西北五地域の農工併進、企業誘致、地場産業振興のかなめとなる工業用水道事業が着工できましたことは喜びに堪えません。来るべき二十世紀に向けて更に企業の進出をはかって行きたい」とあいさつを述べました。

引き続き、関谷次長が「工業用水道が整備されることは、技術先端型企業の立地を促進する上で、極めて大きなインパクトを与えるものと期待しています。これにより、漆川工業団地が青森テクノポリス開発地域の中核的工業団地となることを確信しています」と祝辞を述べ起工式を終えました。

この事業の完成が漆川工業団地への企業誘致に弾みがつき、市経済活性化に大いに役立つものと期待されています。



出稼ぎの

安全を祈願

― 激励会を開く ―

これから出稼ぎをする人達とその留守家族を励ますと十月十二日、市民文化会館で激励会が開かれました。

これからは、市出稼協会(会長・森田市長)と市内農業協同組合懇談会(会長・三上光男七和農協組合長)が共催して開いたもので、約三百八十人が参加しました。出稼ぎの安全を祈る祈願祭を行った後、会長である森田市長が「本市は今、来るべき二十一世紀に向け明

るい展望が次々と開けつつあります。どうか皆さん春には元気で帰って来てください」とあいさつを述べました。

引き続き、三上農協懇談会長と来賓を代表して高田浩稔県出稼対策室長がそれぞれあいさつを述べました。その後、アトラクションとして黒石八郎ショーや自慢のノドを競うカラオケ大会などがあり、参加した人達は楽しいひと時を過ごしました。



激励会であいさつを述べる森田市長

社会福祉功労者などを表彰

市社会福祉大会



森田市長(右)から表彰状を受ける横島貞吉さん

市では十月十三日、市社会福祉協議会や市共同募金会、市民生児童委員連絡協議会など共催で「第三十回五所川原市社会福祉大会」を市民文化会館で開きました。

同大会は、市民の福祉に對する意識の高揚をはかることを目的に開いているもので、市民約二百人が出席しました。

式典では、平山誠敏市社

会福祉協議会長が式辞を述べた後、森田市長が「本大会を契機として、社会福祉の一層の発展と皆さんのご活躍を期待します」とあいさつを述べました。

引き続き、社会福祉に功勞のあつた一戸光晴さんなど三十三人、二十三団体に表彰状、感謝状を贈りました。

その後、県知事代理の黒瀧孝造西北福祉事務所長、

県議会議長代理の成田守県議会議員、県社会福祉協議会長代理の松本晩馨同副会長、川浪直治市議会議長がそれぞれ祝辞を述べました。最後に、受彰者を代表して横島貞吉さんが「本日の榮譽を忘れることなく、社会福祉向上のために尽くしたい」と謝辞を述べ式を終わりました。

なお、同大会では式典に先立ち一野坪小六年の小野恒さんが「それでも心は晴ればれと」、梅泉小六年の浅利康徳さんが「はじめてわかつた祖母のありがたさ、五四中三年の徳田俊哉さんが「太陽の子の集いに参加して」、五一高三年の山川祐美子さんが「仲間から学ぶ」などについて意見発表し、出席者に感銘を与えました。

また、「これからの老後」と題して県老人クラブ連合会副会長の瀬川きくえさんが講演を行いました。今回受彰された方々は次のとおりです。(敬称略)

◎表彰状贈呈
一戸光晴(幾世森)

- 蛇子竹次郎(大町)
- 大沢拓三(吹畑)
- 太田繁太郎(水野尾)
- 横島貞吉(松野木)
- 福士由太郎(浅井)
- 小田桐柱五郎、前田文弘(野里)
- 松野只直(神山)
- 平山弥助(湊)
- 加藤健造(稲実)
- 木村三四郎、藤田勇勝(姥范)
- 山田 資(広田)
- 北川要三郎(毘沙門)
- 阿部義爾(羽野木沢)
- 楠美浩正(高野)
- 和島ひろみ(飯詰)
- 神 修(中泉)
- 佐藤欣宏(梅田)
- 吉岡勤十郎(川山)
- 館山藤三郎(長橋)
- 杉田きぬ(幾島町)
- 工藤道子(青松園)
- 石岡真弓(あじさい児童館)
- 鶴谷典子(つつじが丘児童館)
- 沢田郁子(いくじ児童館)
- 神山智子(梅泉児童館)
- ◎感謝状贈呈
国際ソロブチミスト五所川原
(有)不二屋製菓(錦町)
下平井町青年部
- ちどり会(みどり町)
- 茶道遠州会津軽西海支部(大町)
- 鶴谷ヤナ(布屋町)
- 聖心幼稚園(末広町)
- 敷島町青年部
- 津軽野保育園、長橋保育園、さかえ保育園
- 津軽三味線滝菜会(湊川)
- 長内 久(柏原町)
- 五所川原ライオンズクラブ
山本 淳(弥生町)
- 松島町仲よき会
- (有)主婦の店(寺町)
- 五所川原ロータリーアクトクラブ
- 木村孝次郎(田町)
- タザワダンスルーム(旭町)
- テフパペットシアターひとみ五所川原公演実行委員会
- 照秀会五所川原支部(鳥森)
- 昭和ボール会(敷島町)
- 県庁生協五所川原支店(栄町)
- みんなのチャリティー青森実行委員会五所川原拠点(茶道裏千家淡光会青森支部)
- 青年部五所川原分会
- 津軽富士見ランドホテル(羽野木沢)
- 中央ロータリークラブ(旭町)
- 葛西専造(本町)
- 五所川原高等学校ボランティア委員会とJRC

結婚50周年おめでとよう

市合同金婚式開く

市では十月六日、中央公民館で今年めでたく結婚五十周年を迎えられた長寿夫婦のみなさんを、心から祝福するために合同金婚式を開きました。

式には五十二組の夫婦、来賓など合わせて約百人が出席し、森田市長が「今後とも健康に留意され、市勢



森田市長(右)から顕彰状を受ける金婚夫婦

仲展のためにお力添えをくださるようお願いいたします」と式辞を述べ、金婚夫婦を代表し、平山元藏さん・きくゑさん(本町)夫妻に顕彰状と記念品を贈りました。

引き続き、川浪直治市議会議長、村上純一五所川原商工会議所会頭、葛西專造市老人クラブ連合会長がそれぞれ祝辞を述べました。

その後、受彰者を代表して松島町の山形四郎さん・キヨさん夫妻が「今回の顕彰を契機に、夫婦ともども健康に留意し、地域のために尽くしていきたい」とお礼の言葉を述べました。

また、藻川の外崎義雄さん(73)・まささん(68)夫妻が「結婚五十年のあゆみ」と題して、これまで歩んできた人生を語り、出席者に深い感銘を与えました。

この後出席した人達は、昼食をとりながらアトラクションで楽しいひと時を過

- ごしました。
- 顕彰された夫婦は、次のとおりです。(敬称略)
- 平山元藏・きくゑ(本町)
 - 葛西勝太郎・みよ、葛西久吉・シエ(以上元町)
 - 成田直彌・トミエ(田町)
 - 澤田健造・キヌ(上平井町)
 - 吉岡武美・つる(布屋町)
 - 櫻庭金吾・ひさ(旭町)
 - 堀内貞三郎・ナカ(柏原町)
 - 寺田三次郎・あね(下平井町)
 - 山本賢太郎・みちゑ(柳町)
 - 須藤由太郎・きい(若葉)
 - 石岡幸作・操、山形四郎・キヨ(以上松島町)
 - 小笠原俊夫・ツナ(湊)
 - 工藤甚策・タケ(みどり町)
 - 森平内・いゑ、森正男・トミ(水野尾)
 - 高橋茂作・しも(金山)
 - 平山末四郎・きせ(姥泡)
 - 山田善孝・テル(稲実)
 - 鳴海彦一・セリ(七ツ館)
 - 鰐田正助・シサコ(田川)
 - 藤森長一郎・ちよ(川山)
 - 岡田善徳・テツ(桜田)
 - 片岡勝雄・スヨ、工藤藤次郎・なみ、和田徳衛・きみ(以上松野木)
 - 須藤運藏・れん、須藤喜代次・かし、小田桐三郎・ちや(以上福山)
 - 土岐義吉・みさこ、成田源次郎・ソナ、石岡三太郎・みつ(以上野里)
 - 成田一雄・キセ、三ヶ田竹里・さくら、嘉山伊八郎・きさ(以上毘沙門)
 - 川口正一・ヨシノ、竹谷藤作・ハギ、佐藤定一・つよ(以上梅田)
 - 今東一・ゆきゑ、関徳治・キセ(以上中泉)
 - 横澤清治・ヨシ(俵元)
 - 伊藤武一・キノ(羽野木沢)
 - 成田留四郎・さき(原子)
 - 三浦勝雄・キヨ、田中運次郎・とみゑ(以上高瀬)
 - 外崎義雄・まさ(藻川)
 - 田中富士太郎・キヨ、三浦竹四郎・きみえ、白取嘉市郎・ハナ、今長八・きみゑ、前田権一・チセ(以上飯詰)

成人式は1月3日に行います

市では、成人式を来年1月3日に行います。

対象者は、市民で昭和42年4月2日から昭和43年4月1日までに生まれた人です。

対象者には、12月初めに通知します。

※お問い合わせは、市教育委員会社会教育課(☎2111番内線248番)へどうぞ。

県内初の「おやこウォークラリー」

交通ルール楽しく勉強

五所川原地区安全運転管理事業主会(飛嶋孝英会長)と安全運転管理者協会(片岡貞雄会長)では十月十八日、「五所川原交通安全おやこウォークラリー」を開きました。

これは、交通安全意識を楽しく手軽に身につけてもらおうと企画されたもので、

親子そろって四・五キロほど歩き、その途中の関門で交通安全クイズに答えながら交通ルールを勉強しようというゲームで、県内では初めての試みです。

この日は、時おり小雨の降るあいにくの天気でしたが五十組、百人の親子が参加しました。



ラジオと地図を片手に「さあ～出発」

大会に先き立ち、飛嶋会長が「自分の安全は自分で守るという意識を高め、今日一日楽しく過ごしてください」とあいさつを述べ、その後、菊池富美雄市長、伊丸岡正男五所川原警察署副署長がそれぞれ参加者を激励しました。

スタートは午後零時三十分で、ラジオとラリー用地図を持って出発し、途中、市中央公民館、東北電力(株)五所川原営業所など三か所のチェックポイントでお巡りさんと握手した後解答用紙をもらい、交通安全クイズに答えて参加者全員が無事完歩し、楽しい一日を過ごしました。

なお、今大会では市内旭町の中畑留美子さん・孝介くん・ゆう子さん親子が見事優勝し、賞状、市長杯を授与されました。

悪質商法にご用心!

移動消費生活センター開く

市中央公民館で十月十二日、移動消費生活センターが開かれ家庭の主婦ら約四十人が出席しました。

これは、消費者の権利を守り、消費生活の安定と向上をはかるために制定された「消費者保護基本法」の趣旨に基づいて、市が消費生活センターと共催で開いたものです。

この日は、中村八代県消費生活センター所長が「消費者行政とセンターの役割」を説明した後、「お年寄り

をねらう悪徳商法」の映画を上映、続いて、山本アユ子先生(県消費生活センター)を迎えて「だましの商法のアレコレ(悪質商法の手の内公開)」と題して、悪徳商法の実例と防止策について講演が行われました。

また、会場には消費生活に関連したパネルが展示され、集った主婦らは身近に起こるかもしれない問題だけに約三時間真剣な表情で聞き入っていました。



講演する山本アユ子先生

◎こんな販売手口にご用心

▽かたり商法(消火器、トイレファンなど)

「変だなと思ったら、役所などに確認する。」

▽送りつけ商法(本、ボールペン、健康食品など)

「不明な郵便物は手をつけずに保管する。」

▽催眠商法(健康食品、羽毛布団など)

「タダの景品につられて、怪しげな説明会場などに近づかない。」

▽開運(靈感)商法(印鑑つぼ、塔など)

「先祖の霊は金をしほり取るための口実。」

▽見本工事商法(風除室、ベランダなど)

「市販のものとは比べ、本当に有利かどうか確かめる。」

▽もうけ話商法(先物取引、抵当証券など)

「うまい話には必ずウラがある。」

▽名義借り商法

「自分で返済するハメになるので絶対に貸さない。」

街頭募金

奉仕者を激励



街頭募金奉仕者を激励する森田市長(左) 平山誠敏市社会福祉協議会長(右)

「わかちあう幸せ」をスローガンに始まった赤い羽根共同募金運動十日目の十月十日、森田市長は街頭募金活動奉仕者の激励と募金の呼びかけを行いました。

この日は市老人クラブ連合会、五所川原ライオンズクラブ、五一高JRCなどから約三十人が協力して、本町、柏原町のデパート前

や大町など七か所に、四五人のグループになって街頭募金活動を行いました。この日森田市長は、平山誠敏市社会福祉協議会長とともに歩いて回り、奉仕者の皆さんに「大変ご苦労さまです。身体に気をつけてがんばってください」と激励し、道行く人達に募金を呼びかけました。

明るい街づくりにと防犯灯5基

東北電力(株)五所川原営業所

東北電力(株)五所川原営業所では十月十二日、藤村義男所長と工藤昭夫営業課サ―ビス係長が市役所を訪れ、明るい街づくりに役立ててくくださいと「防犯灯」五基を寄贈、森田市長に目録を手渡しました。

これは、同日から始まった東北電力グループのサー―ビス向間の多彩な行事の一端として行われたものです。森田市長は、この寄贈に對し「防犯灯の設置は市民会議でも大変要望が多い。十分役立たせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



森田市長に目録を手渡す 藤村所長(左)

人権擁護・人権思想の普及に尽力

法務大臣から表彰状

人権擁護委員の石井福太郎氏(市内一ツ谷)に、法務大臣から表彰状が贈られました。

これは、永年にわたり市民の人権擁護と人権思想の普及高揚に貢献されたことに對し、表彰状が贈られたものです。

去る十月二日、湊多嘉喜青森地方法務局五所川原支局長から伝達されました。

市町村交通事故防止コンクール

中間発表(6月~8月)

▷期間 6月1日から11月30日までの6か月間

▷期間中の事故点

事故点(1件10点)、死者点(1人100点)を積算し、これを当該市町村の人口、車両台数と対比して数値化、評価します。

▷表彰対象

旧三市、新五市、町、村のグループ別に行います。

※悲惨な交通事故から愛する家族の尊い命を守るため、市民一人ひとりの自覚とご協力をお願いします。

〈あなたが主役です〉

▷地区グループ別成績(上位市町村)

区分	順位	市町村名	評価点数
A地区(旧3市)	1位	青森市	46.7
	1位	十和田市	29.4
B地区(新5市)	2位	三沢市	30.0
	3位	五所川原市	42.2
	1位	川内町	13.3
C地区(町)	2位	中里町	13.6
	3位	野辺地町	13.8
	1位	風間浦村	0
D地区(村)	〃	脇野沢村	0
	3位	東通村	6.0

(点数の低い方が上位です)

昭和63年度(4月入所) 保育所入所申請受付

- ▷受付期間 11月9日から11月30日まで
▷受付場所 市福祉事務所・各保育所
※軽・中度の障害児保育を2か所の保育所で実施しています。
※現在数か所の保育所で定員に余裕がありますので、今年度中からでも入所できます。
詳しいことは、市福祉事務所児童係(☎⑤2111番内線243番)へおたずねください。

昭和63年度母子・寡婦 福祉資金(修学資金等) 予約貸付けの受付

- ▷対象者 経済的に困難な事情にある母子・寡婦家庭で、児童が高等学校、短期大学、大学、高等専門学校及び専修学校等に進学もしくは入所を希望するもの。
- ▷提出書類
- ①貸付申請書(福祉事務所にあります。)
 - ②添付書類
 - (ア)貸付申請者の戸籍謄本
 - (イ)配偶者のない女子で現に児童を扶養していることを証明する書類(用紙は福祉事務所にあります。)
 - (ウ)進学証明 在学している学校からの進学証明書(用紙は福祉事務所にあります。)
 - (エ)支度資金所要額内訳書(用紙は福祉事務所にあります。)
- ▷提出期限 11月25日
- ▷貸付けの仮決定 昭和63年1月末日までに仮決定し、本人に通知する予定。
- ▷貸付けの本決定と資金の交付
- ①修学資金・修業資金
仮決定された人の児童が高等学校等に入学し、在学証明書の提出がなされたものに対し、63年4月中に本決定し同月末日までに資金交付の予定。
 - ②就学支度資金
仮決定された人で、高等学校等の選考試験に合格し、その合格通知書等により入学が確実になったものについて、63年3月中に本決定し同年4月末日までに資金交付の予定。
- ※詳しいことや書類の提出は、市福祉事務所児童係(☎⑤2111番内線243番)へお問い合わせいたします。

東分駐所を 東分署に格上げ 一五所川原消防署一

五所川原消防署東分駐所は昭和57年4月1日に市の東部に位置する長橋、七和、梅沢(一部)の各地区を対象に、水槽付ポンプ車1台で市内大字原子に設置されましたが、本年10月1日から救急車1台を配備し、署員も増員して救急業務を開始しました。

また、分駐所を分署に格上げして消防、救急活動に万全を期しています。

**11月9日は
「119の日」
火事と救急は
119番へ**

出稼ぎに出たときは… 農業者年金

農業者年金に加入している方が、出稼ぎに行かれた場合には、次のような手続きをキチンとしておいてください。

もしも、これらのことを怠りますと将来年金を受給できなくなる恐れがありますので、十分注意してください。

▷出稼ぎ先で厚生年金に加入すれば農業者年金の資格を失います→農業者年金資格喪失の届をすること。

▷出稼ぎから帰って国民年金に加入すれば再び農業者年金に加入できます→農業者年金再加入の届をすること。

☆出稼ぎ先の会社から、必ず被用者年金加入期間(勤務期間)証明書をもらってきてください。(証明書の用紙は農協にあります)

▷出稼ぎ期間が8か月以内であれば、その期間は実際に掛け金を納めなくても年金をもらうために必要な期間としてみなしてくれる制度があります。

※詳しいことは、市農業委員会(☎⑤2111番内線229番)または農協にお問い合わせください。

新受入図書

市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
「脳力」を育てる	下河内 稔	止息滅盡三昧	高島 宇朗
新編日本史のすべて	坂本 太郎	明日なき街角	北方 謙三
官僚支配の構造	川口 博之	ちろろば先生物語	三浦 綾子
逆脱出のシナリオ	田原総一郎	証言その時々	大岡 昇平
異才時代	竹村 健一	信子十二か月	桂 信子
老人クラブを見直す	村田 松男	花咲いて花散って今	木村 梢
絵巻物再見	奥平 英雄	嫉妬の時代	岸田 秀
絵 金	講談社	梔子の花	山口 瞳
モローの竖琴	中山 公男	名探偵なんか怖くない	西村京太郎
若者はなぜ行列がすきか	藤竹 暁	狩をするエイラ	ジーン・アウル
心をこめて 家族の時間	木村 治美	横浜物語	望月 義
現代社会福祉の探究	小林 育子	戦場の固き約束	木下 恵介
日本人の死霊観	武田 明	袖の下捕物帳	胡桃沢耕史
ストレス時代	水野 肇	死を見つめる仕事	猪瀬 直樹
超電導革命	牧野 昇	翔べバルセロナへ	軍司 貞則
農村生活カタログ	伊藤 昌治	梶川一行の犯罪	赤瀬川 隼
日本歴史地図	竹内 理三	幕末住友役員会	佐藤 雅美
遙かなる甲子園	戸部 良也	政宗の娘	若城希伊子
白神山地に生きる	鎌田 孝一	山女魚風よ吹け!	秋丸 修一

会員研究発表会

—北奥文化研究会—

- ▷日時 11月8日(日)午後1時から4時まで
- ▷場所 市中央公民館
- ▷発表者
間山鉄夫氏「西北五の家紋」
中村節雄氏「縄文の食生活」
- ▷入場料 無料

県信用保証協会からのお知らせ

当座貸越(貸付専用型)根保証

当座貸越の保証により、その限度内で反復継続して借入(貸越)ができる制度です。

- 一度契約すれば借入のつどの手続きは不要です。印紙代が節約できます。
- 借入のつどの手続きの煩雑さが無くなります。
- 必要な資金が何時でも、すぐに借りられます。
- 余裕資金が生じたときは、随時返済ができ利息も軽減となります。
- 保証料は一般保証にくらべて年率0.80%と低率でご利用しやすくなっております。

※詳しいことは、県信用保証協会五所川原支部(☎354121番)または金融機関各支店までお問い合わせください。

青年海外協力隊 62年秋の募集説明会

- ▷応募資格 20才から原則として35才までの日本国籍を有する青年男女。
- ▷派遣期間 2年間
- ▷派遣業種 農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツ等約130職種
- ▷開催日時及び場所
11月19日(木)弘前文化センター(午後6時30分から8時30分まで)
11月20日(金)青森市文化会館(午後6時30分から8時30分まで)
- ▷問い合わせ先 県総務部文書課(☎017721111番内線2209番)又は、国際協力事業団東北支部(☎022(223)5151番)へどうぞ。

生徒募集

国立宮古海員学校

- ▷募集人員 本科(3年)約40人
- ▷受験資格 ①中学卒(卒業見込みを含む)、またはそれ以上
②昭和63年4月1日現在で15歳以上19歳未満の人
- ▷願書受付 昭和63年1月10日～2月10日
願書は、国立宮古海員学校教務課(☎0193-62-5316番 ㊦027 岩手県宮古市磯鶏12-48-2)へ返信用封筒(170円切手をはり)を同封してお申し込みください。

国立小樽海員学校

- ▷募集人員 本科約30人(3年)
 - ▷入学資格 昭和44年4月2日～昭和48年4月1日に生まれた人で、中学卒業以上(63年3月卒業見込みの人を含む)
 - ▷願書受付 昭和63年1月10日～2月10日
- 詳しくは、小樽海員学校教務課(☎0134-54-2122番 ㊦047-01 小樽市桜3丁目21番1号)へどうぞ。

老人精神保健教育講座

(この道はいつか来る道)

五所川原保健所

▷日程

日 時	行 事
11月19日(木) 13:00~ 15:30	「ボケの正体をさぐる」 ○老年期の特性とボケ ○映画「白い記憶の世界」
11月30日(月) 13:00~ 15:30	「間違っていないかボケ老人の理解と接し方」 ○寸劇を通して考える
12月7日(月) 13:00~ 15:30	「ボケ予防のための工夫とポイント」 ○日頃の食生活を通して ○予防のための生活の知恵

▷場所 五所川原保健所

▷申し込み先 五所川原保健所 (☎34 2 1 0 8 番) へ11月10日までにお申し込みください。

たばこは、市内から買って!

あなたが市内でたばこをお買い求めになりますと、たばこ消費税が市の収入 (たとえばマイルドセブン1箱につき41円40銭) になります。



立冬や村のかけなる無人駅
夜長し灯影に動く町工場
長き夜重ね置くも五六冊
北風やさびしさつつみ十三の湖
北風に裸街路樹灯の細く
菊咲けり見事に咲けり駅の菊

三和 小山内 三和 工藤 内山 佐々木 村 孤 千 村 夢衣

津軽鉄道 水車吟社

俳

句

「愛の献血」

お願いします

ただいま県内では非常に血液が不足しています。手術等で多量に輸血が必要としている方々へ市民の皆様方のあたたかいお心をお願いします。

期 日	時 間	場 所
11月9日 (月)	午前10時から 11時まで	レストラン藤吉郎 前 (大町)
	正午から 午後4時まで	日立東部セミコン ダクタ津軽工場前 (漆川)
11月25日 (木)	午前10時から 11時30分まで	白生会胃腸病院 (上平井町)
	午後1時から 午後4時まで	五所川原東高等学校 (羽野木沢)

みんなの健康教室

▷日 時 11月27日(金) 午後1時

▷場 所 市保健センター

▷講 師 横山 義弘先生

(白生会胃腸病院長)

▷テーマ 「内視鏡的手術」

主 催 北五医師会・市民保健協議会

みんなの健康教室

テレフォンサービス実施中

☎35 0 3 1 1 番

電話番号変更のお知らせ

休日・夜間の在宅医師照会(消防署)の電話番号が、11月1日から下記のとおり変更されます。

新番号 **34-4999** 番

旧番号 **35-2019** 番

なお、この電話は在宅医師照会専用で、火災の問い合わせ等には使用できません。
(救急医療部会)